

# 冬の訪れを待つ！

2023年1月23日発行

**No.226**

Tsunan-Town



議会だより

# つなまち

## 12月定例会 12/7~9

新年あいさつ、臨時会、定例会……	02~03
請願、要請、発議案、討論 ……………	03~04
人事、採決結果 ……………	05
一般質問～町政を問う～……………	06~10
特別委員会レポート……………	11~12
灰雨トンネル視察、委員会レポート …	13
令和5年度建策要望事項……………	14~15
町民登場……………	16

津南町議会

検索

【写真】(上) 初雪で雪あそび (下) たくあん大根干し

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。  
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 恩田 稔

# 令和5年

## 新年ごあいさつ

津南町議会議長 恩田 稔

皆様、明けましておめでとございます。日頃より、町議会に対しご指導やご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や急激な円安等の影響で、各種資材、燃料、肥料、電気料等の高騰が続くとともに、終息の見えない新型コロナウイルス感染症対応など依然として社会情勢は混沌としております。

それらの影響により、わが町でも基幹産業である農業のほか、観光業、商工業など多くの業種にとつて厳しい一年となりました。そのようななか、町内では大割野の空き店舗を活用したまちなかオープンスペースだんだんの開設や、旧外丸小学校校舎を活用する企業の誘致など、新たな施策が実施されたことは喜んでおります。

町議会においては、一昨年9月に「議員定数等特別委員会」を立ち上げ、議員定数等のあり方について

新しい年を迎え皆さまのご多幸をお祈りいたします。12月定例会は初雪も遅れ積雪の無い中行われましたが、この「議会だより」が皆様に届く頃には津南らしい雪景色になっていることと思います。また3年越しの新型コロナウイルス感染は収束することなく、65歳以上の方は5回目の予防接種が終わりしましたが、感染拡大は第8波の到来と云われ再び猛威を振っています。お互いに万全の予防対策

でこの冬を乗り切りましょう。さて本議会で、町では来年度予算の編成が行われており、それを踏まえ9名の議員は主に来年度の施策について一般質問に立ちました。また2つの特別委員会も大詰めを迎えており、本報でお知らせいたします。

# 第7回臨時会

(10月31日開会)

## 一般会計補正予算

(第10号)

補正額 1億5,320万円  
総額 77億2,948万円

### 衛生費

2,293万円  
病院にコロナワクチン接種委託、看護師等の人件費、事務、備品等

### 商工費

1,520万円  
燃油価格高騰に対する支援、緑ナンバー運送業者へ120万円、温浴施設等へ1,400万円を補助

## 歳出の主な項目と内容

### 民生費

5,855万円  
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付、町民税非課税世帯に対して5万円、介護障害者施設に対して総額555万円他事務費

### 農林水産事業費

4,367万円  
米・食味コンクール実行委員会補助金500万円、物価高騰対策営農継続補助3,425万円、きのこ栽培に対する電気料等高騰対策補助600万円など

検討を行ってまいりました。検討にあたっては、各年代の皆様は、津南未来会ケートを実施したほか、津南未来会議の皆様との懇談などにより、多くのご意見を参考にさせていただきました。

その結果、議員定数については今年秋の改選から2名削減の12名とし、議員報酬については幅広い世代の方々が議員を志すために増額が必要であるものの当面は現状維持とし、引き続き検討を行っていくことといたしました。

また、町民の皆様からは、個々の議員活動や議会全体の取組が見えづらいつつご意見を頂戴しています。町議会としても、町民の皆様からの声や行政に反映されるよう引き続き取り組みとともに、議会だよりの構成の見直しや定例会のインターネット中継などにより議会活動をご報告してまいります。

結びに、今年1年が町民の皆様にとりまして、幸せな年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 第4回定例会

(12月7日開会)

## 一般会計補正予算

(第11・12号)

補正額 (11) 217万円  
補正額 (12) 3億4,158万円

総額 80億7,324万円

### 歳出の主な項目と内容

#### 総務費

マイナンバーカード申請受付業務委託3郵便局 165万円  
ふるさと納税の基金へ積立 4,000万円

ふるさと納税事務委託と返戻品 2,000万円  
県議会議員選挙費 328万円

#### 民生費

町民税非課税世帯灯油購入費補助 (一世帯当り5千円) 425万円  
重度訪問介護・自立訓練給付 816万円

#### 農林水産業費

農業振興費補助金及び交付金 2億1,824万円

内訳：環境資材マルチ等補助150万円、強い農業づくり支援交付金JA米均質化施設、建物他荷受ライン、出荷ライン、軽量、色選ラインなど2億1千百万円、環境保全型農業拡大支援196万円など

森林整備集落補助金 669万円

#### 商工費

竜神の館源泉温度低下対策補助 200万円

#### 土木費

消雪パイプ電気料増 500万円

## 発議

(風巻光明議員)

### インボイス制度施行の延期を求める意見書の提出

消費税の適正化と平等化を図るため令和5年10月から施行する予定となっている。

本制度は、立場の弱い小規模事業者にも不利益を与え、地域経済のさらなる疲弊を招くことになりかねない。激変緩和策も検討されているが、世界情勢と日本経済が落ち着きを取り戻すまで延期することを求める。

↓賛成多数で可決

### 賛成討論

桑原 義信

「消費税が10%になって大変なのに、今度はインボイスで吸いとられるのか」「直売所へ野菜を出しているが、消費税を負担しなくてはならないのか」などの声が寄せられている。この制度は免税業者に納税義務を負わせ、経済的事務的負担を強いるものだ。商店や飲食店だけでなく、個人タクシーや大工、板金や内装業、左官など一人親方、フリーランスで働く人などすべての

事業者には負担がかかる。自治体にもインボイス導入は大きな影響を与える。自治体も売り手としてインボイスを発行する必要とされる場合もある。シルバー人材センターも高齢者個人がインボイスを発行しなければ、多額の納税負担が発生する。

免税業者が取引から敬遠されたり、消費税相当分が値引きされるといった問題を抱えたインボイス制度は中止すべきだ。準備が間に合わない業者も多い。制度の延期を求む。

## 請願・発議

（村山道明 議員）  
むらやまみちあき

### 免税軽油制度の継続を求める

#### 請願・意見書の提出

スキー産業の発展に貢献している免税軽油制度が令和6年3月末で廃止される。この制度がなくなれば観光産業や農林水産業等幅広く市町村経済にも影響を与えることから、制度の継続を強く要望する。

↓いずれも全員賛成で採択・可決

## 要請

要介護1・2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行することについての意見書提出に関する要望書

↓賛成少数で不採択

## 賛成討論

（小本曾茂子 議員）  
おぼそしげこ

財務省は、社会福祉予算を3割減らしたいと厚労省に介護保険の給付減を迫っている。

要望書を提出した「認知症の人と家族の会」などの頑張りで、次回改定は免れたが、結論は先送りされただけだ。介護離職や、介護難民を生まないために本要望に賛成する。

## 発議

（津端眞一 議員）  
つばたしんいち

津南町議会の議員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定

↓賛成多数で可決

現在の定数 14人  
↓改選後の定数 12人

（12Pに特別委員会報告掲載）

## 反対討論

（桑原 義信 議員）  
くわはら よしのぶ

議会アンケートの結果では、「議員定数が多い」は、56・3%、「少ない・現状維持」は合わせて41・4%で4割に達している。アンケートは動向調査で圧倒的多数ではない。4割を超えた民意も尊重しなければならぬ。現状維持とすべき理由は、住民との繋がりの面で見ると、最近の津南町の人口8989人から、定数14人で642人、12人に削減すると749人となり、住民の声が届かなくなる。議員定数削減は、若い層の議員への挑戦もますます厳しくなる。各委員会でも1議員ずつ減ると多様な意見を反映できなくなる。また、行政のチェック機能の役割があるので減らすべきでない。

議員の役割は、いかに住民の声を聞き、住民の声を町政に反映させるために働くことではないか。よって議員定数削減ではなく、現状維持を求めて削減案に反対する。

## 反対討論

（石田タマエ 議員）  
いしだ たまえ

議員の大きな役割は地域住民の声を町政に反映させることと、行政のチェック機能であること。現状の人数でこれらが全うできているとは言いがたい。その要因の一つとして議会でも何事においても議論が不足していると考えられる。多様な意見を出し合い活発な議論を重ねることが重要である。そのためには、各常任委員会が最低でも6人から7人程度いなければ多様な意見が活発に議論される委員会となりにくい。また、一方で住民の意見を行政に届け、反映されるための努力が必要だ。

津南町は集落が点在しておりそれぞれの地域事情が異なる。これ以上人数を減らして更に住民の声が反映されない環境を作ってはならない。まずは現状で、議員に課せられた使命を全うする必要がある。また、若者が議員に出やすい議会運営の方法を検討することも不可欠である。この様な考えから定数削減に反対する。

# 人事

## ◆人権擁護委員候補者の推薦に対する議会の意見

(全員賛成で適任と決定)

小林幸枝 氏(船山)

## 略歴

令和2年4月

人権擁護委員

1期在任中

## ◆津南町固定資産

評価審査委員選任の同意

(全員賛成で同意)

大澤 隆 氏(外丸)

## 略歴

平成16年12月

津南町固定資産

評価審査委員

5期在任

## 令和4年12月議会採決(表決)結果

議案番号	件名	表決状況												採決結果	
		滝沢元一郎	小木曾茂子	久保田等	関谷一男	桑原義信	江村大輔	石田タマエ	村山道明	吉野徹	栗原洋子	津端眞一	草津進		風巻光明
承認第13号	専決処分の承認について(令和4年度津南町一般会計補正予算(第11号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
同意第1号	津南町固定資産評価審査委員会委員選任の同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
議案第49号	津南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
議案第50号	津南町職員の定年引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
議案第51号	津南町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
議案第52号	令和4年度津南町一般会計補正予算(第12号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
議案第53号	令和4年度津南町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
議案第54号	令和4年度津南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
議案第55号	令和4年度津南町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
議案第56号	令和4年度津南町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
議案第57号	令和4年度津南町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
議案第58号	令和4年度津南町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
発議案第6号	インボイス制度施行の延期を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	可
請願第2号	免税軽油制度の継続を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
発議案第7号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	可
要請第3号	要介護1、2の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行することについての意見書提出に関する要望書	×	○	×	×	○	×	×	×	×	欠	×	×	×	否
発議案第8号	津南町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	×	○	×	○	○	欠	○	○	○	可

●採決結果の記載方法(可=賛成多数で可決等の場合:否=賛成少数で否決等の場合)

●表決結果の記載方法(議員個々の賛否:賛成=○・反対=×・欠席=欠・除斥=除):議長は表決に参加できません。

# スバサバ 町政を問う!!

## 一般質問(9議員)

- 1** **草津 進** 議員 (6ページ)  
1. 地域産業をどう活性化していくか  
2. 持続可能な上下水道の方向性について  
3. 不登校、いじめ対策は
- 2** **久保田等** 議員 (7ページ)  
1. ふるさと納税増額対策について  
2. 今後の企業版ふるさと納税の取り組みについて  
3. DMO(観光地域づくり法人)の設立について  
4. ALTの増員について
- 3** **滝沢元一郎** 議員 (7ページ)  
1. 地域農業の維持について
- 4** **関谷一男** 議員 (8ページ)  
1. シニアカーを使用する高齢者の対応について  
2. 認知症を患っておられる方の保護は

- 5** **村山道明** 議員 (8ページ)  
1. 人口減少対策(子育て支援)等関連  
2. スマート農業(通信情報)等関連  
3. 冬期除雪支援等関連  
4. 病院医師確保
- 6** **桑原義信** 議員 (9ページ)  
1. インフルエンザ予防接種の自己負担を無料に  
2. 豪雪対策の強化
- 7** **小木曾茂子** 議員 (9ページ)  
1. つなん生活支援サポーターについて  
2. 継業支援の取り組みについて  
3. 柏崎刈羽原発の再稼働について
- 8** **石田タマヲ** 議員 (10ページ)  
1. 保育園建設の不落の原因分析と今後の進め方について
- 9** **江村大輔** 議員 (10ページ)  
1. 行政の組織マネジメントについて  
2. 職員の意識醸成について  
3. みさと苑の移転について

《一般質問の内容については、各議員の文責》

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 地域産業をどう活性化していくのか

町長 人材がいなければ地域活性化・魅力ある町づくりはできない。人づくりは町づくりの根本であり人材育成が町民の生活を守ることに繋がる。

町長 「補助金」から補助人への人材の確保が必要と思うが。

町長 人材がいなければ地域活性化・魅力ある町づくりはできない。人づくりは町づくりの根本であり人材育成が町民の生活を守ることに繋がる。

町長 人口減の中にあっても守つていかなければならない重要な課題である。将来の町づくりに向け皆さんと議論を重ねていく。必要な事業には投資をしていく。

町長 「地域医療」「生活交通の確保」「集落の維持活性化」「産業の振興」など地域振興には未来への投資が大切である。どう取り組むか。

町長 人口減の中にあっても守つていかなければならない重要な課題である。将来の町づくりに向け皆さんと議論を重ねていく。必要な事業には投資をしていく。

町長 「地域医療」「生活交通の確保」「集落の維持活性化」「産業の振興」など地域振興には未来への投資が大切である。どう取り組むか。



仲よしハイキング

町長 人口減の中にあっても守つていかなければならない重要な課題である。将来の町づくりに向け皆さんと議論を重ねていく。必要な事業には投資をしていく。

町長 「地域医療」「生活交通の確保」「集落の維持活性化」「産業の振興」など地域振興には未来への投資が大切である。どう取り組むか。

町長 人口減の中にあっても守つていかなければならない重要な課題である。将来の町づくりに向け皆さんと議論を重ねていく。必要な事業には投資をしていく。

町長 「地域医療」「生活交通の確保」「集落の維持活性化」「産業の振興」など地域振興には未来への投資が大切である。どう取り組むか。

町長 人口減の中にあっても守つていかなければならない重要な課題である。将来の町づくりに向け皆さんと議論を重ねていく。必要な事業には投資をしていく。

町長 「地域医療」「生活交通の確保」「集落の維持活性化」「産業の振興」など地域振興には未来への投資が大切である。どう取り組むか。

### 不登校・いじめの実態と対策は

町長 不登校の児童、生徒の人数は把握しているか。

町長 教育委員会では毎月各学校から報告を受けている。欠席状況や対応の経過の確認を行い、年度末に県教育委員会に報告している。

町長 新型コロナウイルス禍において、子供の生活リズムが乱れるなど感染拡大の影響があったか。また、いじめの認知件数はあるか。

町長 第7波は主に夏休み期間中で、特に生活の乱れがあったとの報告は受けていない。いじめの認知件数はあり、対応している。

新年あいさつ、臨時会定例会

請願・要請、発議案、討論

人事、採決結果

一般質問と町政を問う

特別委員会レポート

灰雨トンネル視察委員会レポート

建築要望事項

# 自分で稼ぐ力を付けなくてはならない



久保田 ひとし 議員

ふるさと納税を増やすには

**問** 納税額が多い自治体ほどサイト数は多いが、増設予定は。

**町長** 外部サイトは11月に1事業者増やした。年度末までにさらに事業者を増やす方向で調整中。

**問** 津南町の直営サイト（自前のサイト）を開設する必要がある。外部サイトでは発信出来ない商品の魅力、生産者の苦労話等アピールすると共に、もつと津南町をアピールしなければふるさと納税は増えないと思うが。

**総務課長** 課を横断して若手職員が月1回は話し合いを行っている。12月に民間人材の知見を取り入れるため、民間事業者と連携協定を結ぶ予定。

**問** 同じ地域に66%の方が納税している。リピーター確保にどのような努力をしているか。

**総務課長** 前年度寄付された方にはダイレクトメールやPR商品の送付等も検討していきたい。

**問** 企業版ふるさと納税について、22年度は未だ0件だ。今後、増やして行く為の具体的な対策・施策はあるか。

**町長** 津南町ならではの特色ある事業や対外的にアピール出来る事業に絞り込みを行い、スピード感を持って進めて行きたい。

## DMOの設立は

**問** 組織体制はどうするか。

**町長** 既存の組織の改変・法人化を検討している。

**問** 財源確保は。

**町長** ふるさと納税等いくつか検討している。

## A・L・Tの増員をすべき

**問** 多くの保護者が希望している保育園での遊び英語を充実すべきと思うが。

**教育長** まだ始めたばかりで、現時点で増員は考えていない。

ふるさと納税おススメサイト	ベスト8
1位	楽天ふるさと納税
2位	ふるなび
3位	ふるさとチョイス
4位	ふるさとプレミアム
5位	さとふる
6位	AuPAY
7位	ANAのふるさと納税
8位	ふるさと納税ふるぽ

11月に楽天を追加し、ベスト8の利用は3件となった。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 地域農業維持のために



滝沢 元一郎 議員

## 農業物価高騰対策の継続を

**問** 原材料不足、円安、流通の混乱により来年度の農業分野は資材や飼料・肥料の高騰、さらなる燃油や電気料の高騰の直撃を受ける。農産物は生産費の上昇を価格転嫁できない厳しい状況にある中で、来年6〜7月頃には運転資金にも支障をきたす懸念がある。特に23年度肥料は稲作関連で30〜50%、畑作関連では40〜100%の高騰、生産費は全体で10%程度の上昇となり、規模が大きい経営体ほどその影響は大きくなる。最も厳しい状況に直面する農業者の負担軽減を図るため地域農業に対する継続的な町独自支援が必要ではないか伺う。

**町長** 来年度の農業資材、肥料など、高い価格水準で推移する見通しで、影響の長期化が懸念される。国県の肥料価格高騰対策の状況を見ながらJAなど販売業者と連携し、支援策に取り組む方針である。化学肥料に過度に依存しないような営農が進展できるようにしていきたい。コロナ禍3年目となるが、交付金ありきではなく農業は町の基幹産業であり、耕作意欲をそぐようなことのないよう対応していくことが大切だと認識している。

**農林振興課長** 肥料高騰対策事業についてはJAにおいて12月中に5回説明会を開く。補助対象者には12月に申告書を発送し、補助金の交付は2月頃を予定している。



値上げが続く肥料

# シニアカーと徘徊者の保護は



せき や かず お 議員

## シニアカーを使用する高齢者の対応は

**問** 高齢者の免許返納が呼びかけられる中、歩行者扱いのシニアカーが多くなった。利用者の保護と、安全に使用していただくための対策や地域ごとの指導会等の開催に助成は考えられないか。

**町長** シニアカーは高齢者の皆様などが座って買い物や散歩など日常の移動手段として利用できる大変便利な乗り物で、道路交通法では歩行者扱いとなっているが、高齢者の割合が高くなってきていることから移動手段として台数が増えていくと認識している。シニアカーが関係する事故も増えている。講習会は平成30年度から開催

しているが、令和2年度からはコロナ感染症対策のため実施できていない。感染症の状況を見ながら今後開催していく。指導会については、町交通対策協議会の事業として実施し、負担が生じないようにしたい。

## 認知症徘徊者の対応は

**問** 深夜徘徊者を見かけた場合の対応保護は。

**町長** 当町では行方不明者が出た場合、心当たりの場所を捜索しても見つからない時は警察に相談するよう伝えている。また町に相談があった場合、家族の同意があれば広報無線や防災メールで広く情報を提供して発見につながるようお手伝いしている。



春を待つシニアカー

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 津南病院医師募集の反応は



むら やま みち あき 議員

## 医師確保の奨学金説明会は

**問** 町立病院の医師確保には苦悩されているが、新設された医師確保対策事業「総合診療医師支援金最大3千万円最低2年間勤務」の反応は。

**町長** 11月10日40名近く全国医師・研修医・医学生から説明会に参加して頂いた。

## 婚活の支援手段はあるのか

**問** 町の婚活支援の取組みで、有効手段はあるのか。また町独自のサイト開設は。

**町長** 町単独対策には限界がある。県には「ハートマッチ新潟」がある。新年度予算の中で会員登録料の補助を検討する。

## 農業装置の農家負担額は

**問** 情報通信環境整備（農業

用水利施設・遠隔操作型自動給水栓など活用したスマート農業）の取り組みは、省力化、生産性の向上にまい進する姿勢と伺える。11月7日現地研修会（米原）から、農業以外の福祉・学校などへの活用もできる壮大な事業と伺えた。そこで①町民へ事業説明はどうする。②5年度実証計画は。③農家負担（初期設備投資・固定経費等）想定額は。④負担に対する町支援策は。

**町長** 令和3年度から情報通信整備の試行調査を行っている。11月説明会（米原で）40人が参加した。5年度は、水田水管理、ため池監視など試行調査するため積雪時期へのICT機器の取り扱いなどが課題。

今後町は、計画策定し、農家負担額見直しや支援策など整備後の安定運用が可能か見極める。整備に意欲ある農業者や集落に対して推進して行きたい。



水田自動給水装置 センサー付

# 豪雪対策の強化を



豪雪地で暮らし続ける条件整備を

**問** 過疎化、高齢化が進む中、除排雪の担い手は、自助共助で対応できなくなっている。豪雪地において安心して暮らし続けられる条件整備がいま待ったなしである。町で除排雪対策チームを作っては。

**町長** 除雪要員を確保することが難しいことや屋根雪除雪を生業とする業者、個人がいるので、十分研究が必要と認識している。他の自治体事例や除雪関係者の意見も参考にしながら、除雪券対応の継続も含め、町全体としての雪処理対策を検討していく必要があると考えている。

**問** 雪が降り続く日は、帰宅時集落に入れないほど町道に



屋根除雪後の雪処理も重労働だ

雪が積もっている。除雪力を増やし対応できないか。

**町長** 異常降雪時は、緊急確保路線以外も対応しなければならぬとされている。緊急車両通行不能の通報があれば、随時対応している。町道も大雪警報が出されたときや緊急時等で通報を受けたときは可能な限り対応している。

**問** 助け合い組織を作った集落に支援できないか。

**町長** 共助組織への補助金については、地域の除雪の担い手と合わせて研究したい。

**問** 除雪券増額の考えは。

**町長** 降雪状況によっては除雪利用券を追加発行してきた。今後必要時には実施する。

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う！

# 生き続けられる町をつくるために



つなん生活支援サポーター導入制度の在り方は

**問** 要支援1、2も町の総合事業に組み入れられた。サポーターは生活支援サービスBにし、補助金をつけるべき。

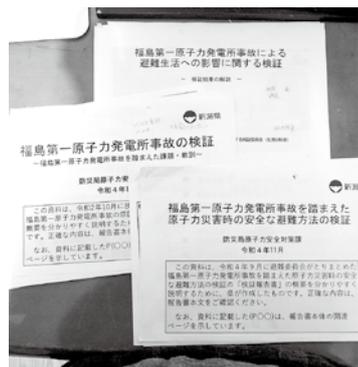
**福祉保健課長** いずれ、サービスBの担い手として考えていきたい。

**問** 国は要介護1、2も介護保険対象から外そうとしている。そんなことになれば、介護職、介護難民が増え、施設も立ち行かなくなる。

**町長** 地方の現状をことあるごとくに国に訴えていく。

**継業支援の取り組みは**

**問** 後継ぎが決まらず、廃業になることで町は立ち行かなくなる。大切な取り組みと思うが、実態はどうか。



県原発検証会の説明会資料

**観光地域づくり課長** 説明会には8業者が出席した。継業バンクに登録することで全国から後継者を募集することができる。

**問** 起業への支援にも力を入れてほしい。

**副町長** 様々な支援策を講じており、広報にも力を入れる。

**原発再稼働にどう向き合うか**

**問** 現状での柏崎刈羽原発の再稼働は可能と思うか。

**町長** 県は検証結果を総括委員会会で十分に検討してほしい。

**問** 冬は北風で、放射能は1時間どく。避難者受け入れだけでなく、住民避難計画を立てるべき。検証結果の説明会は津南町でも開催すべき。

**総務課長** 県の担当者と相談をしたい。

新年あいなせつ臨時会、定例会

請願要請、発議案、討論

人事、採決結果

特別委員会レポート

灰雨トンネル視察委員会レポート

建築要望事項

# アドバイスを無視して強行したのでは



石田 夕馬 議員

## 保育園増築工事の設計業者及び町長責任は

**問** 国交省の検証の中間報告により不落の主な原因が明らかにされた。入札までの経緯が誠実に執行されたのか疑義を感じる。予定価格は、何を根拠に設定したか。

**町長** 設計業者の見積額を踏まえ予定価格を設定した。十分なチェック体制が無かった。

**問** チェック体制が無かったら、他にアドバイスをいただくことをなぜしなかったのか。

**町長** 多くのアドバイスをいただいていた。全庁で持つ力の範囲の中で「価格の見直し」等を進めてきた。

**問** アドバイスは価格の見直しであり、内部にチェック体制が無いにも関わらず、アドバイスが無視したことは行政

執行者として不誠実であり、

無責任極まりない。何故そのようなことになったのか。

**町長** 私の力不足による。今後はこのようなことが無いようにしていく。

**問** 今回の事業の入札では、予定価格と応札価格の差が3億あった。これは地元業者いじめであり、品確法に触れている。品

確法では、事業者が適当な利益を確保でき、労働基準法を遵守した工期設定が必要なこと等を

定めている。公共事業でこのようないことがあつて良いのか。

**町長** 品確法に触れているとは思わない。

## 今後の保育園整備の方向は

**問** 「こぼと・北部・ひまわり」の3園統合は、今も変わりはないか。

**町長** 将来的に統合は必要と考えるが、これまでの答申を参考に広く意見を聞き、時間をかけて検討していく。



ひまわり保育園予想図

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 行政の組織管理と意識醸成の取り組みは



江村 大 議員

## 業務多忙化と長時間労働の影響は

**問** 業務多忙化の認識と解消に向けての業務改善をどのように取り組んでいるか。また長時間労働等で影響は発生していないか。

**町長** 業務が複雑化し、増加していることを課題として捉えている。事務事業の見直しや人事評価、デジタル技術の活用等により、改善をすすめたい。

また、特定の人に業務が偏らないよう調整、指導している。

## 職員の当事者意識醸成の取り組みは

**問** 行政職員は津南町が将来どうあるべきかをリードする立場である。当事者意識の醸成をどのように取り組んでいるか。



まちづくりには1人1人の力が必要

るか。

**町長** 職員の意識改革のため積極的に研修等に参加するよう指示している。組織のマネジメントも含め議論が出てくることの良いことである。議論の活性化が大変重要である。

## みさと苑移転の対応は

**問** みさと苑の移転に際し、どのような対応を取ったか。働き手確保のため介護に係わる資格取得支援は考えられるか。

**町長** 存続の要望書を十日町市内の本部に提出し、代表者とも面談した。介護人材の確保は国、県を含めた全体の課題であり、要望していきたい。

**福祉保健課長** 介護人材確保に向けて資格取得等のための支援を検討しなければいけない。

# 委員会レポート

Commission Report

## 保育園増築工事に関わる調査特別委員会報告

前回「9月議会報」の中間報告で、まだ明確にされていない事項があった。

入札不落については「国交省の検証と指導」を受けているところであり、その結果で判断したいとの回答である。その後11月16日に入札不落についての検証がほぼ完了したとのことで、町より検証の中間報告を受けた。

概要は以下のとおり。

**問** 二度の入札不落により既に着工し、支払い済の中で損失となった金額に対しての責任をどうとるのか求めているものがあるが。

**回答** 検証の結果、入札額が町の予定価格と大幅に開きがあったため、本保育園増築の基本設計と実設計は使えないと判断した。従って現在では設計費約3千万円は損失と考える。責任についてはできるだけ早い時期に議会に説明し理解をいただく予定。

**問** 「予定価格」「入札価格」「設計積算価格」の検証によりその結果を回答願う。

**回答** 昨年11月の第2回目入札については調整率等により「予定価格」は7億9483万円とした。「最終入札価格」は9億9500万円と約2億円開きがあった。「設計積算価格」は4年度予算編成時には予算内（8億9300万円 電気工事別）としたがその後、追加仕様により上がったため見直し、最終的には予定価格として算出した額と同じである。

（注記 予定価格と入札価格には電気工事が入っていない。別途入札の予定のため）

**問** 設計積算価格（予定価格）の妥当性の検証はどうなったのか。

**回答** 国交省の検証では予定価格に対し計3億600万円の超過となっている。超過内訳は見積採用した調整率

の影響1億4400万円、物価変動の影響5500万円、共通費の差額1億700万円である。その結果、予定価格に超過金額を入れ11億円が設計額として妥当であると指摘している。

### 結論

今後、保育園の進め方は当委員会の手から離れるが、今回の国交省の検証により現在まで進めていた建設は一旦原点にもどり、統合も含め、町民、保護者、議会、行政で答申を参考にし、より良い保育園を目指し再検討する結果となったと判断する。

（担当 風巻 光明）

## 十日町市 保育園等視察

十日町市内に新しく建設された保育施設2園を11月16日に視察しました。

2園とも構造・内装に独自の工夫をいれており、また木材を多く使用し、ぬくもりのある素晴らしい保育園でした。建築工事費も津南町の計画している半分程度で出来ていました。

### ソフト面での工夫点

- 働く女性のため、朝の準備が無く、保育園児には手ぶらで送迎できる。（おしめや寝具不要など）
- 保護者と保育士間の「おたより帳」不要。その日の園児の過ごし方を動画で撮影しSNSで発信し保護者も返信できる。その様子は玄関の大型モニターで放映されている。
- 愛宕幼稚園では、屋外広場に遊具があるとそれではしか遊ばな



あおの森保育園 玄関と調理室

いことになるので、遊具は置いていない。皆で工夫した遊びを考えている。

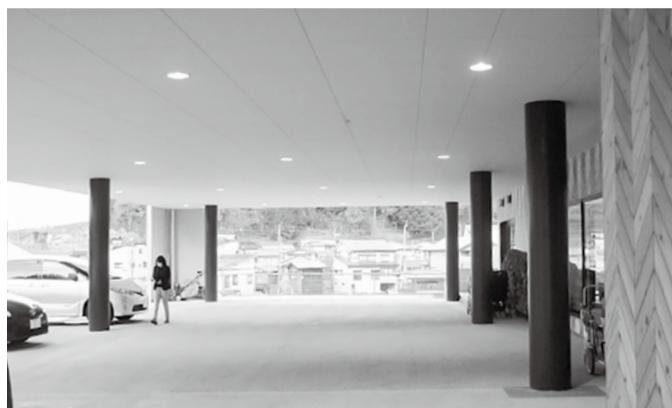
この様に随所に園長や保育士の思いが入っていて大変勉強になりました。



あおの森保育園 保育室



愛宕幼稚園 2階保育室と吹き抜け



愛宕幼稚園 広い玄関ピロティー(雨雪でも楽に送迎)

## 議員定数等特別委員会報告

議員定数等特別委員会では、昨年秋から11回の会議の他、町民アンケート調査や懇談会等を開催し、議論を重ねてきました。次の通り報告します。

### 議員定数について

#### 【2名削減(12名)が適当】

平成27年の改選で定数を14名とした当時、町の人口は1万人を超えていましたが、現在は9千人を下回っています。現状維持や4名削減の案も検討しましたが、人口減少を見越し率先して定数を減らすのではなく、より住みやすく魅力のある町にするために2名減にとどめ、12名で議会を運営していくことが適当であると判断しました。

### 報酬額等について

#### 議員報酬

【当面現状維持とし、次期改選以後、全国町村議会議長会の調査を参考に検討する】

定数を削減することに加え、



現在19席ある議場

#### 政務活動費

【議員活動を活発にするため、増額を求める】

定数の削減により、更なる議員活動の活発化を促進するためには増額が必要であり、町に求めることとしました。

若手が議員のなり手となるためには、現状では職業として成り立たない現状を考えると「増額」が必要とされる。

全国町村議会議長会で、報酬額について調査研究を進めており、その報告等を参考に今後検討することとしました。

## 灰雨トンネル 工事視察

◆とき 11月2日(水)

◆ところ 灰雨集落起点側から

◆工期

令和3年7月～令和6年3月  
まで(2年9か月予定)

①現在の灰雨スノーシエッドは幅員も狭く大型車のすれ違いが困難な他、急カーブもあり交通事故も多発しています。その対策としてトンネル工事を開始しているものです。

②入口～出口まで全長827mで、「その1工事」は起点側から410mの約半分を施工し、完了すると「その2工事」として終点の反里地区から残りを施工します。現在起点側か



掘削最先端



工事中の構内

ら180mほど掘削されており、終点側は道路改良・雪崩対策工事が行われていました。

### 視察を終えて

道路幅は大倉トンネルと同じ7mで両サイドに安全歩道がついています。トンネル内に入ると火山灰のためか粘土質の土でした。またトンネル上部は赤沢地区で龍ヶ窪の水系にあるのか、かなりトンネル内では浸透水がでていました。

この工事により津南町内の国道117号は全てが広く安全となり、願いがかないます。事故の無いよう安全工事をお祈りします。

(担当 風巻 光明)

## 産業建設常任委員会 視察研修会

◆とき 11月18日(金)

◆ところ 群馬県

①伊勢崎市 カネコ種苗株式会社  
くにさだ育種農場

②渋川市 赤城たちはな管内下仁  
田ネギ生産者 (株)青高あぐり

### ①くにさだ育種農場

農場は品目毎に6グループに別れ品種改良(育種)と栽培試験、採種試験を行う。

品種改良は現在栽培している品種より特性や違った特徴を持つもの(耐病性、耐寒性耐暑性、耐倒伏性、形、色、質、姿、食味、収量、均一性、在圃性(土地との整合性)など)の素材を収穫し、4年間かけ合わせながら選抜を繰り返し5年目でF1交配を作る。6年目から2年間は特性試験、8年目から産地試験を開始し、徐々に面積を拡大して、12年目に新発売となる。今後の農業の方向性として大規模化やスマート農業が進むことから、出荷方法への対応、作り易い効率化の品種、6次産業化や輸出拡大、フードバリエーション構築に向けた高級品、SDGs、

みどりの食料戦略生産コスト(農業・資材・肥料)低減品種などを考慮して育種すること。圃場には選抜試験圃場が広がり、数十種の野菜が育てられている。

### ②(株)青高あぐり

下仁田ネギ5ha、枝豆5ha、加工用冬キャベツ5ha、福島県浪江町に長ネギ10haを経営、下仁田ネギは6月頃播種し、10月後半から2月まで収穫、1日約350ケース程出荷。根下をトラクターで溝掘りし、抜き取り、幹3本残して切り取り、選別箱詰め、すべて手作業で行う。労働力は親子2夫婦、フィリピンからの研修生2名、特定技能実習生6名。農場は特定技能実習生管理団体として登録され、実習生の就農支援体制も整っている。実習生の国民年金、国保、税など生活福祉の面でも確立している。

(担当 滝沢元一郎)



くにさだ育種農場

# 建築要望提出

来年度の予算編成に向け、2つの常任委員会から諸事業の要望書を町に提出し11月30日に回答を得ました。主なものは次の通りです。

## 総文福祉常任委員会

### 【総務課関係】

#### 財源の確保について

**要望** ふるさと納税の増額と企業版ふるさと納税にも力を入れること。

**回答** 今後もポータルサイトの拡充をしていく。企業版ふるさと納税は町の魅力発信を検討する。

#### 行政運営について

**要望** 各課の主要事業の概要と目標を数値化し、PDCAサイクルを確実にまわすこと。

**回答** PDCAサイクルに基づいた管理に努める。

#### 公共交通体系について

**要望** 地域住民の使い勝手の良い公共交通体系の抜本的な改善計画を立て実現につなげること。

**回答** 「津南町地域公共交通網形成計画」の計画年度である令和6年度をめどに具体化できるように検討する。

#### 除雪対策について

**要望** 除雪要員確保が年々困難になっており、支援策を早急に具体化すること。

**回答** 国の豪雪地帯安全確保緊急対策事業の活用



による除雪体制の整備と担い手の確保対策を検討する。

#### 【福祉保健課関係】

#### 介護事業について

**要望** 突発的緊急事態に対応できるように体制構築を進めること。

**回答** 突発的な緊急事態への対応は、公的支援だけでは限界がある。地域全体で支え合いの仕組みづくりを構築できるように努めていきたい。

**要望** 特別養護老人ホームの撤退に対して、地元で受け入れ施設の実現に向け、早急に検討すること。

**回答** 移転に伴う受け皿となる施設の必要性については、令和6年4月からスタートする「第9期介護

保険事業計画」策定の中で検討する。

#### 予防事業について

**要望** 感染症予防のため、予防接種等の負担軽減を図るとともに、コロナ検査キットを確保し、希望する住民に支給すること。

**回答** インフルエンザの予防接種は低所得世帯には、申請により自己負担免除としている。令和4年12月から、有症状で希望する町民に検査キットを無料で配布する。

#### 【教育委員会関係】

#### 保育園再編について

**要望** 今後の保育園のあり方について、早急に検討委員会を設置し、住民とよく話し合い理解を求めること。

**回答** 今後の保育園の方向性は、国交省の検証結果等を踏まえて最終的に判断する。検討委員会の設置の必要性は議会や住民等の意見を勘案して判断したい。より一層住民理解が深まるよう努めたい。

#### 学校統合について

**要望** 小学校統合は、地域と話し合いを進めること。中学校については、今後のありかたについ

て近隣自治体と協議をすること。

**回答** 地域の振興協議会等と情報交換等の機会を設定したい。津南中学校・津南中等教育学校共に存続できるように近隣自治体と協議したい。

#### 部活動の地域移行について

**要望** 小中学校の部活動地域移行に関し、体制整備を早期に進めること。

**回答** 地域移行に係る諸課題の洗い出し、課題解決の方策等検討し、段階的に進められるよう努める。



#### 【津南病院関係】

**要望** 外部登用も含め病院経営を専門的に行う人材を育成すること。

**回答** 経営感覚に優れた職員の確保のため、専門知識のある人材の登用や育成を図っていく。

**要望** 建物の更新を検討するとともに、3階の空き病棟の活用方法も早急に検討すること。

**回答** 適切な時期に、施設の老朽化対策に取り組む。空き病棟については有効な利活用を検討していく。

## 産業建設常任委員会

## 〔農林振興課関係〕

## 農林について

**要望** 土づくり事業の拡大による品質向上と特徴を生かした園芸産地づくりに官民と連携を深め販路拡大、ふるさと納税返礼品拡充に努めること。

**回答** 土づくり事業は、水田・畑地支援は継続する。園芸産地づくりは、「農林産物販売促進チーム」を中心に、消費者ニーズ把握や農産物販売促進等を検討していく。ふるさと納税返礼品のメニューの拡充、ホームページの構築支援など進める。

**要望** 新たな圃場整備区域の掘り起こし、基金を活用した小規模基盤整備の推進、自己負担額の軽減を講ずること。

**回答** 新たな地域の洗い出しを行うとともに、担い手への説明会等を開催する。町農業振興基金の有効活用方法、併せて償還金等受益者負担軽減策を検討する。



津南米・食味コンクール

〔観光地域づくり課関係〕  
観光について

**要望** 観光、イベントなどの情報について、各施設等と連携し発信強化を図る。その効果の分析検討、他地域との比較研究をするよう要望する。

**回答** SNS、動画サイトでの発信、報道機関への情報提供など多種多様な方法で行っている。必要な情報を必要な人に届けるかが重要である。町を訪れる客層（旅行者）の満足度調査やデータ分析から、情報発信のターゲットを明確にし、効果的な情報発信を行っていく。

## 〔建設課関係〕

## 除雪について

**要望** 近年の豪雪に対する除雪状況は、町道の通勤・通学・通園で支障が生じている路線がある。除雪体制を強化し、集落の要望に対処いただきたい。

**回答** 町道除雪体制については、除雪機械・消雪施設（消雪パイプ）の更新や直営での機械除雪路線と委託路線を適切に組み合わせ対応する。集落の要望については、降雪状況によるが、適切な除雪作業ができるよう対応する。



令和4年2月6日R117号と病院行交差点風景

## 住宅・改修について

**要望** 住宅改修補助金制度は福祉や人口減少対策も関連している。制度見直しを検討されたい。

**回答** 住宅改修補助事業は、平成21年度から経済対策として取り

組んできている。高齢者・子育て世帯に10万円を上乗せして限度額20万円としてきた。制度の一部見直しに着手する。



屋根除雪用安全器具風景

〔税務町民課関係〕  
環境衛生について

**要望** 津南地域衛生施設組合のプラスチックごみ処理について、結論を出すよう要望する。

**回答** 製品プラスチックを含むその他プラスチックごみの処理方法については引き続き検討していく。



## 町民登場

津南町へUターンして  
家業を継いだ  
津南高原農産の工場長に  
お会いしました

つる まき たく み  
鶴巻卓実さん(津原)



**Q.津南に帰ってくる前はどのようなお仕事をしていたか。**

美術系の学校を卒業後、農業の勉強をするため、関東圏の知人の農家や農業法人で働いていました。家業を継ぐため、津南に帰ってきました。

**Q.実家を離れている間で思い出として残っていることがありますか。**

フリーの時間があつたので、友人と一緒にロシアのウラジオストックからスタートしてモスクワまでシベリア鉄道で大陸を横断したことです。約2か月間かかりましたが、自然の景色が美しく、楽しかったことが今でも思い出せます。

**Q.会社では今どのような仕事を担当していますか。**

農産加工工場の工場長として、自社での農産物の加工を担当しています。ニンジンジュースが主体ですが、その他、餅、大豆、ソバなど製品化しています。

特にニンジンジュースについては、日本中の120社から委託を受けていて、一般的に農業は冬が暇になるのですが、うちは冬が一番仕事があつて忙しいです。

**Q.これからの農業に対してやってみたいと思うことは？**

津南町ではいろいろな物を作れる良さがあります。地域のために、循環型(地産地消)で貢献していきたいと思つています。

**Q.農業で課題と思うことは？**

津南町の農業は若い人や法人化が進んできていますが、横の繋がりがあまり無いように思つています。若者の繋がりで農業だけに限らず全職種で情報交換やアイデアなど出していく事が必要なかと思つています。

**Q.趣味やチャレンジしたいことは？**

絵を書くことですが、津南町を表現する町独特のものを描いてみたいです。

**Q.町に望むことは？**

子供達が帰ってきて住んで良かったと思える町になって欲しい。人が多く集まれて若者が活気溢れる町になって欲しいと願つています。例えば、若者が集まれる素敵な公園があつたら良いかと思つています。

鶴巻さんは30代で、とても真面目な方、お兄さん、お姉さんも同じ職場に勤めていて家族で力を合わせて頑張っている姿を感じました。



送られる検査キットのセット

12月12日から18日の一週間、津南町の新型コロナウイルス感染者数は、県の公表で55人でした。

私も新型コロナウイルスに感染し、自宅療養終了後もコロナ後遺症とみられる症状で悩まされました。鼻声、味覚・嗅覚の変化、頭痛、倦怠感等の症状が長く続くこともあると病院スタッフから聞きました。辛くて2日間点滴もしてもらいました。

12月議会も欠席しご迷惑をおかけしました。現在も新型コロナウイルス感染症の拡大が続いています。皆さん十分気をつけてください。

町は抗原検査キットの配付事業を開始、ありがたいです。心配な方は福祉保健課にご相談ください。(Y・K)

編集後記